

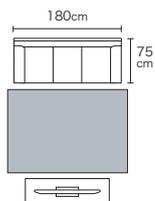
ラグコレクションの特性

対象：コトソメ、ラグジュアリーラグ

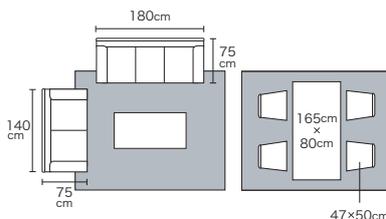
当社のラグコレクションは上質のウールを中心に使い、国内の熟練の職人がご注文頂いてから一枚一枚に丁寧に製作しているラグのシリーズになります。

ラグのサイズ —家具・ソファとのレイアウト例—

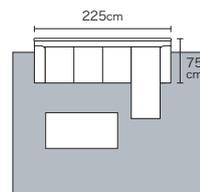
ラグサイズ 140×200cm



ラグサイズ 200×250cm



ラグサイズ 250×300cm



製品に関してのご注意

- ・出荷時の巻き癖や巻きしわが残っている場合がありますが、時間の経過とともに解消されます。
- ・パイルが抜けたりほつれたりした場合は、はさみなどでカットしてください。
- ・長時間直射日光が当たる場合では変退色する可能性があります。カーテンなどで日除けをしてください。
- ・ウールのラグやカーベットは、遊び毛と呼ばれる遊離繊維が発生しますが、品質上の欠陥ではありません。掃除機で吸い取ってください。
- ・カットパイル製品は、使用中にパイルの方向が部分的に乱れ、くも状の色むらのように見えることがあります。この現象はカットパイルの特有の性質であり、品質上の欠陥ではありません。
- ・椅子等の局部的加重による圧痕が残る可能性があります。
- ・家具の脚などにゴム製品等のカバーを使用すると、商品を汚染し、変退色を起こす可能性があります。
- ・製品によっては素材特有のにおいのあるものがあります。換気を心掛けてください。
- ・置き敷きですので、滑りやすい場合は床と商品の間に滑り止めマットを敷く等の対応をお願い致します。
- ・変形、変質、変色、裏材の剥離や風合いが損なわれる場合がありますので、濡らさないでください。
- ・ドライクリーニングと洗濯機による洗濯・脱水及び、乾燥機での乾燥は行わないでください。表面の風合い変化、裏貼り材の剥がれや波打ち、寸法変化を起こす場合があります。
- ・ワックス掛けの後は、完全に乾いてから置いてください。乾燥が不十分だとラグの型が付く恐れがあります。
- ・サンプルやカタログと、製品の色が若干異なる場合があります。ご了承の程お願い致します。
- ・ローラーヘッドタイプの掃除機は構造上遊び毛を誘発する恐れがあります。
- ・本製品は床暖房で想定される耐熱性を有しており、製品自体の著しい劣化に対して配慮しておりますが、床暖房及び仕上げ材に対する影響は各メーカーにお問い合わせください。
- ・床暖房にご使用の際、温められることによりラグの素材臭が生じる場合があります。ニオイが気になる時は換気を行ってください。
- ・床暖房の上で使用すると、床暖房の昇温に時間を要します。
- ・コトソメは防汚加工を施し飲み物など水溶性の汚れのお手入れをしやすくしています。尚、防汚性能は恒久的なものではなく、ご使用の経過と共に効果が低下する場合があります。
- ・コトソメは繊維上の細菌の増殖を抑制し、防臭効果を示す抗菌加工を施しています。

消毒液・抗菌・除菌スプレーの使用についてのご注意

- ・市販の消毒液・除菌剤を使用の際は、記載の用法・用量に従ってご使用ください。
- ・素材によってはシミや風合いが悪化する場合がありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認してからご使用ください。過剰な塗布は避け、薬液を含ませた布で拭くか、適量をなるべく均一に噴霧するようにご注意ください。また噴霧後に硬く絞った布巾で水拭きをしてください。
- ・薬剤が付着する事で変色等は起きなくとも、土砂汚れが付着しやすくなる場合があります。
- ・次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)の使用は、変色や風合いが悪化する恐れがあります。



警告 床の状態によっては滑る場合があります。滑る場合は、滑り止めシート等との併用をお勧めします。

- ・床面が濡れていると滑りやすくなりますので、水分を拭き取ってからご使用ください。勢いよくラグにのらないでください。滑って転倒する恐れがあります。特にお子さまにはご注意ください。
- ・長期間敷いたままのご使用は避けてください。特に新築の床材での使用や、ワックス後はご注意ください。月に1回程度は床面を拭いてご使用ください。
- ・ラグが濡れたまま長時間放置しないでください。カビの発生や床面の変色・変形等の原因となります。
- ・段差のある床面に敷いたり、ラグにシワなどがあると足元をとられる原因となります。凹凸の少ない床面でご使用ください。
- ・ロボット掃除機を使う場合、ロボット掃除機の注意事項をお守りください。機種によって使用できない場合があります。
- ・屋外や車中、他の商品と重ねて使用するなど、本来の用途以外には使用しないでください。

日頃のお手入れ方法（ラグコレクション・ユニットラグ）

掃除機をかける

パイルの毛並みを起すようにかけると効果的です。



粘着テープ

取れにくい髪や糸くずは、粘着テープで取り除くときれいになります。



拭き掃除

固く絞ったタオルや雑巾で水拭きをしてください。



※ローラーヘッドタイプの掃除機は構造上遊び毛を誘発する恐れがあります。掃除機で掃除をされる際には、掃除機の取扱説明書に記載されている注意事項を必ずご一読ください。掃除器メーカーの中には、回転ブラシを使用することによって、ラグが毛羽立つことがある等の注意書きが記載されている場合があります。掃除での注意事項がある場合は記載内容に沿ってください。

※ロボット掃除機を使う場合、ロボット掃除機の注意事項をご確認ください。

※同じ場所に長時間、敷設すると裏面の滑り止め材の跡が残る場合があります。月に一回程度、ユニットラグを上げて床面を拭いてください。跡が付いた場合は、固く絞った布で拭き取ってください。

ご注意

・ドライクリーニングはできません。

・シミ取りの洗濯に用いる洗剤は、かならず中性洗剤をお使いください。

・洗濯機による洗濯・脱水及び乾燥機による乾燥は行わないでください。

・弱アルカリ性のドライマーク衣料用洗剤や、漂白剤の使用は避けてください。

シミ・トラブルのお手入れ方法（ラグコレクション・ユニットラグ）

コーヒー・紅茶	ジュース・ビール・ワイン	お茶	アイスクリーム・ジャム
水で固く絞った布巾で拭き取ってください。ミルク入りの場合は薄めた中性洗剤で拭き取ってください。時間が経過した場合は、酢で拭き取ると効果的です。	水またはぬるま湯を含ませた布巾で叩き、汚れを取ってください。汚れが残る場合は、アンモニアか洗剤液で落としてください。	時間が経過した洪茶は酢をつけ、オキシドールで拭きとってください。	粉末洗剤をかけ、アイスクリーム等を吸い取らせたあと、乾いてからブラッシングまたは、掃除機の隙間ノズルで吸引してください。
チョコレート	ガム	醤油・ソース	マヨネーズ・バター
ティッシュで拭いてから、ベンジンで叩いて脂肪分を取り除き、洗剤液で拭き取ってください。	氷をあてて固めてから取ってください。残ったものは、ベンジンで叩いて取り除いてください。	ティッシュで吸い取り、洗剤液で拭き取ってください。	ぬるま湯を含ませた布巾で汚れを取ってください。汚れが残る場合は、洗剤液で拭き取ってください。
ケチャップ	口紅	マニキュア	クレヨン
ティッシュペーパーなどで出来るだけ取り除き、酢で拭きとってください。色が残ったらオキシドールで拭き取ってください。	アルコールで取り、洗剤を入れたぬるま湯で拭いてください。	マニキュアの除光液を布巾に染み込ませて注意深く拭き取ってください。	ひどい汚れはアルコールを歯ブラシにつけて、叩いて汚れを取ってください。

※上記の汚れ落とし作業は、汚れが付着した際に直ぐに拡がらないように注意して行ってください。濡れている場合はさらに乾いた布でたたくように水分を拭き取ってください。

手洗い方法（ユニットラグ）

1. 手洗い

POINT 汚れた部分を洗う

ユニットラグの表面が汚れた場合は極力パイル部のみに水を当てるようにして洗ってください。それでも汚れが取れない場合は中性洗剤を薄めた水で手洗いし、しっかり水ですすいでください。すすぎが不十分だと吸着効果が低下し、滑りやすくなる恐れがあります。

2. 拭き取り

POINT 水をよく吸い取る

キレイに洗った後、含んだ水を手で振り切り、さらにタオル等でしっかり水を吸い取ってください。水の吸い取りが不十分な場合、特に裏面は乾燥しにくくなります。

3. 陰干し

POINT よく乾かす^{※1}

乾燥は陰干しで行い、なるべく風通しのよく、商品が変形しないように平らな場所に平置きするかまたはスポンハンガーなどで吊してしっかり乾燥させてください。
※完全に乾燥していないと変形や変色、またカビ・臭いが発生する恐れがあります。

4. 仕上げ

POINT 整える

乾燥後、反り癖があれば直し、毛並みも揃えパイルのぼつれがあれば、丁寧にハサミでカットしてください。

【汚れが落ちにくい場合の手洗い方法】

- ①ぬるま湯に中性洗剤を少量混ぜ、スプレーボトルに入れ、汚れにスプレーをして、タオルでたたくように汚れを吸い取ってください。汚れが広がらないように、タオルのきれいな部分に替えながらたたくのがコツです（中性洗剤の他に、5%程度の重曹水を活用すると汚れが取れやすくなります）。
- ②洗剤を使った後は洗剤がユニットラグに残らないように水で洗い流してください。
- ③汚れが取れたら最後にパイルをタテヨコ4方から手ぐしで整え、しっかり水を切って陰干しを行ってください。

【乾かし方のコツに関して ※1】

- ①洗った後はしっかり水分を切ってください。ユニットラグを数分間、立て掛けておくと水分は、上から下に流れます。更に図のようにすると、角部分に水分が集まります。その部分を手で絞ると水分が切りやすくなります。
- ②ユニットラグの上下をタオルで挟むような形にし、平らな場所においてタオルの上を歩くようにするとタオルに水分がよく吸い込みます。タオルが濡れましたら、乾いた新しいタオルに取り替えて繰り返してください。
- ③乾燥は陰干しで行い、なるべく風通しのよい、平らな場所で時々、裏表をひっくり返してしっかり乾燥させてください。また、スポンハンガーなどで吊る方法も乾きやすくお勧めです。水の吸い取りが不十分な場合、特に裏面は乾燥しにくくなります。

